



兵庫県議会議員 ●総務常任委員会副委員長

# 春名哲夫

## 県政報告 第10号

■発行日 平成26年5月1日

■発行者 春名哲夫



### 県議会就任3年にして 3回目の質問(平成26年2月25日)

第322回兵庫県定例議会に於いて、宍粟市からの応援団多数に見守られ質問する。

第一声は「読みにくい、書きにくい、そして日本酒発祥の地、宍粟市の春名哲夫です」から始まり、宍粟市の道路状況では、「井戸知事が神様にも、仏様にも、鬼にも見える」との言葉に、知事の笑いを取る等、次の5項目について質しました。

#### [1]ひょうご社会基盤整備基本計画について

**問** 社会基盤整備のあり方と方向性は。

**知事** 自然災害に備える、日々の暮らしを支える、次世代につなぐなど持続的発展を繋ぐ三つの視点から必要性、緊急性の高い事業を重点的に進める。

**問** 宍粟市には鉄道がない、日常生活や地域を支える道路は。

**部長** 地域のニーズを適格にとらえ県道岩野辺山崎線・養父宍粟線・加美宍粟線や地域活性化に欠かせない相生宍粟線についても優先順序を見極め計画的に取り組んでいく。

#### [2]地域再生大作戦の推進について

**問** 多自然地域を中心に活力が失われている、6年目を迎える地域再生大作戦は定住支援だけでなく勤労世代に就労支援も必要と思うが。

**知事** 定住に就労をセットで支援するのは不可欠です。県民局中心に各部局間連携して定住人



井戸知事の笑いをご覧ください

#### [3]農地中間管理機構による担い手への農地の集積について

**問** 昨年12月法律が制定され平成26年度から農地中間管理機構が設置される。農地の集積・

集約・更には耕作放棄地に対する今後の取り組みは。

**部長** 兵庫県みどり公社を農地中間管理機構に

指定し農林業振興事務所を中心に認定農業者や新たな當農業者の意向を聞きながら農地の集積・集約経営規模拡大を図り生産性の向上に努める。

又条件不利農地や耕作放棄地等の利用促進にも取り組んでいく。

**申入れ** 農地利用権の設定についても研究すべきである。

#### [4]ふるさとの森公園の今後の運営について

**問** 法人県民超課税が充当の県内6か所のふるさとの森公園はそれぞれが知恵を出し工夫しながら頑張って5年10年が経過する節目である。今後はそれぞれが収益事業を展開するなど自立運営するために、県の融資制度の創設を提案する。

**部長** 豊かな森を基本としつつ、レクリエーション施設の誘致や森林セラピー基地の取得など収益要素を加えた新たな事業展開が必要。自主事業の提案を積極的に評価して融資制度や補助事業活用した支援をするなど自立運営に向けた基盤づくりを推進してまいります。

#### [5]「ことばの力」の充実について

**問** 子供が先生に対しても「何處へ行くん

(そりではなく)「何處へ行ってんじょ」こんな言葉遣いに違和感を覚える。学習指導要領改正に先立つて実践教育に取り組んでから高校

では10年、小中学校では5年になる。語彙力・文書理解力の向上を目的としてEIE授業も取り入れている学校もあり、今後の展開を問う。

**教育長** 小中学校では短歌の創作や古典の暗唱、高等学校では課題研究などにつながっているが一部課題が残っている。新聞からは要約する力や情報を集める力など論理的思考力育成に効果が出ている。今後実践研究の成果をまとめた事例集を県下に発信するとともに発展的な授業展開に向けて研修の実施などによる教員の指導力向上を図り児童生徒の言葉の力の育成に努めていく。

一般質問の全容DVD45分映像を用意しております。ご一報いただき是非ご覧ください。

ドクターへり  
宍粟市15分圏内

- 県議会就任半年の  
平成23年11月
- ドクターへりが常駐する第3次救命救急  
センターは県立加古川医療センターで既  
に開設されており、製鉄記念広畠病院で既  
の開設は、平成25年3月予定でありまし  
た。このまま何もしなければ、基地は加  
古川に決定してしまう。
- 平成23年12月29日  
姫路保健所長と打ち合わせ
- 平成23年12月6日  
姫路市役所訪問、副市長・局長等と協議  
する。
- 平成23年12月14日  
西播磨の県会議員に協力頂き14名の連名  
で知事に申し入れを行う。
- 平成23年12月  
当時の宍粟市議会岡田初雄議長に西播磨  
の市町議長会でも要望の提出をお願いす  
る。(これまでに西播磨市町長会や医師  
会でも要望済み)
- 平成24年3月6日  
一年もたたないで予算委員会で茨城  
県水戸東北や北海道のへり運用の例を挙  
げ、一週間のうち加古川に何日、姫路に  
何日とへりを駐在すべきと食い下がる。  
健康局長答弁：運行方法検討する。
- 平成24年5月17日  
ドクターへりに関する県政報告発行  
(第3号)



H24.5.31 石見姫路市長と



H23.12.14 知事に要望



H25.10.16 広畠着工前



H24.3.6 予算委員会で食い下がる



H26.3.22 広畠完成式



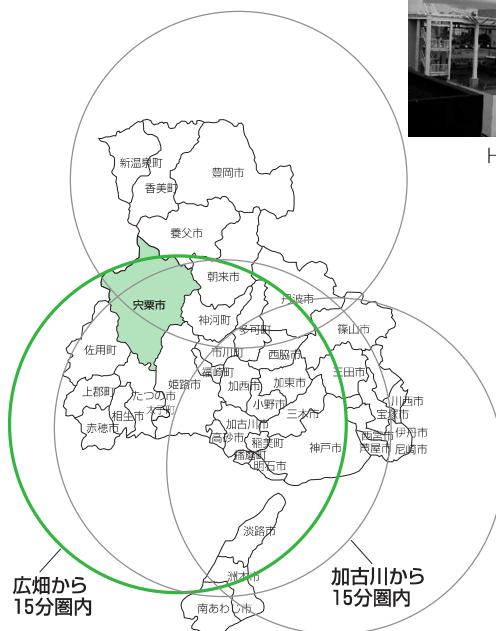
H25.11.30 加古川完成式



H25.11.30 加古川完成式

### ドクターへりの利用

- 1、ドクターへりの運航は8:30～17:00（5月から7月は18:00）
- 2、出動要請は119番を受けた消防機関が重症度等を判断して要請
- 3、患者は最大2名、医師・看護師・操縦士・整備士は必ず搭乗
- 4、搬送自体の費用は不要、医療費は保険制度に基づき請求される
- 5、ドクターへりは、かみかわ緑地公園・スponicパーク一宮・波賀総合スポーツ公園・千種中学校等、市内12か所に着陸する
- 6、搬送先の病院は医師が容体や時間を見て決定する



### なぜ片道15分以内にこだわったか

消防機関が患者を確認しドクターへりを要請するのに約15分、飛んできて医師が診断するまで15分、つまり30分以内に医師の治療下に置かれれば一番救命効果が高いとされております。よって加古川からでは千種・波賀はそれ以上時間を要します。広畠からは概ね15分以内で全域OK、一週間のうち広畠にも2～3日は常駐できるでしょう。しかし悪天候や夜は飛べませんので、ドクターカーも視野に入れなければなりませんがその前にさらなる医師確保等今後も宍粟総合病院の医療体系の充実に努めてまいります。

## 条例改正しました。（26年2月議会） 県下10ヶ所の県民局の内、3ヶ所を県民センターに改正

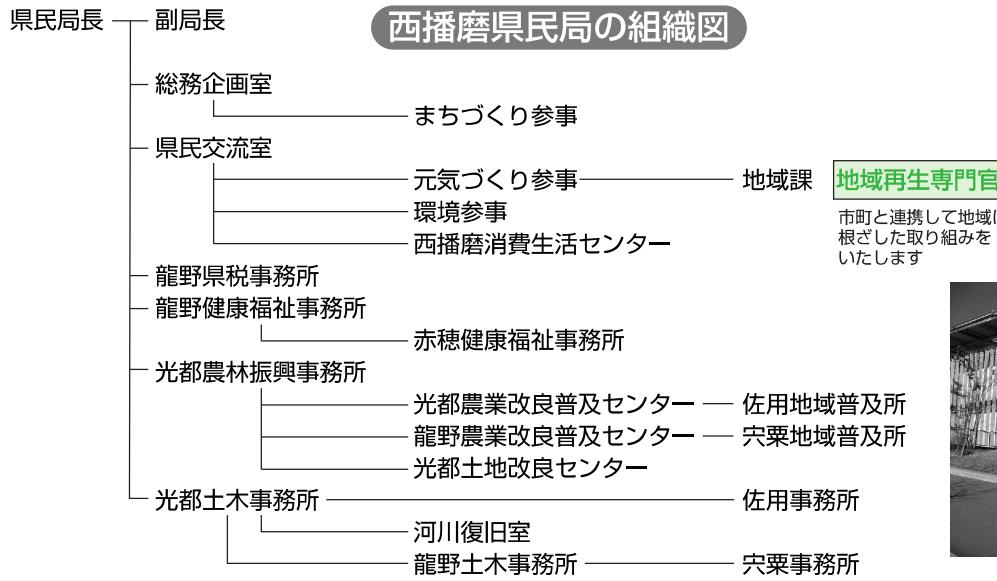
神戸県民局→神戸県民センター 阪神南県民局→阪神南県民センター 中播磨県民局→中播磨県民センター

新名称	所在地	受け持つ区域
神戸県民センター	神戸市	神戸市
阪神南県民センター	尼崎市	尼崎市・西宮市・芦屋市
中播磨県民センター	姫路市	姫路市・神崎郡
阪神北県民局	宝塚市	伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・川辺郡
東播磨県民局	加古川市	明石市・加古川市・高砂市・加古郡
北播磨県民局	加東市	西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可郡
但馬県民局	豊岡市	豊岡市・養父市・朝来市・美方郡
丹波県民局	丹波市	篠山市・丹波市
淡路県民局	洲本市	洲本市・南あわじ市・淡路市
西播磨県民局	上郡町	相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・揖保郡・赤穂郡・佐用郡

これまでの総合事務所の機能は維持しつつ、政令指定都市や中核市を所管する県民局については、県民センターとして大胆な組織の簡素化を図ります。

- 政令指定都市  
神戸市
- 中核市  
姫路市・西宮市・尼崎市
- 特例市  
明石市・加古川市・宝塚市

## 一般質問で取り上げた地域再生大作戦 地域再生専門官が配置されました。



西播磨県民局

## 行財政構造改革

### 今後の財政見通しは？

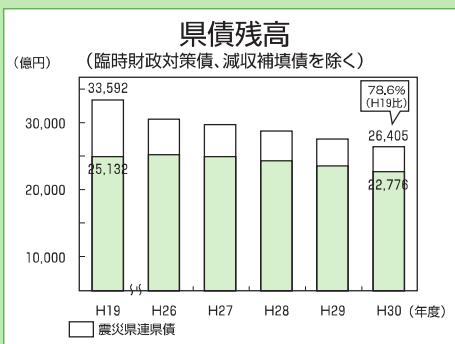
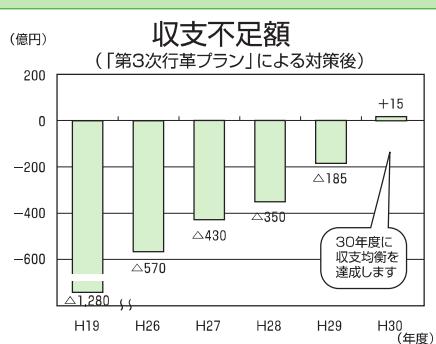
国の経済成長率の見通しなどを踏まえて、今後の財政収支を算定した結果、第3次行革プランに基づく改革を行うことにより、30年度に収支均衡を実現します。

なお、29年度までの間は改革を行っても収支不足が見込まれるため、財源対策（行革推進債等の発行や基金の活用）を講じて解消します。

また、県債残高は30年度に19年度比で78.6%に縮減します。

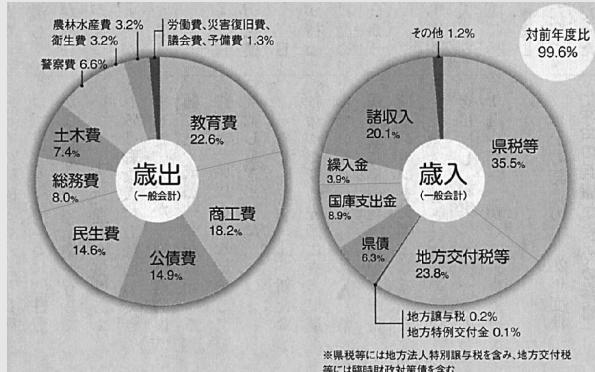
なぜ行革が必要なのか？

平成22年度に第2次行革プラン作成して組織の見直し、定員削減を行いましたが、まだ阪神淡路大震災の借金が500億円を上回る残高があり人口減少の中、災害や少子化対策、超高齢化社会への対応や地域活力の再生のため、しっかりと行革をつくる必要があります。この度第3次行革プラン作成（平成30年度）に、私も加わりました。上記の県民局のあり方を行革の一つであり、私は長期県所有地の売却です。公社等外郭団体の見直しをどんどん発言して行きます。



平成26年度当初予算 総額 3兆5464億円

一般会計 1兆9,502億円 特別会計 1兆3,579億円 公営企業会計 2,383億円



大切な平成26年度の予算を決める2月定例会は2月18日から3月24日の35日間でした。3月19日の本会議では新年度の重点施策として「全ての兵庫」・「安心の兵庫」・「人が生きる兵庫」・「産業活力あふれる兵庫」・「地域が元気な兵庫」の5本柱で総額3兆5千464億円にのぼる予算は、藤田孝太予算特別委員会委員長が県民が納得する施策展開に加え財政をわかりやすく「見える化」して進め行革のマンネリ化を打破し新たな発想での推進を求めた報告を行い、続いて自民・民主・公明のそれぞれ3名の議員が賛成討論し、共産と無所属の一人の議員が反対討論したが賛成多数で可決いたしました。



西播磨県民局内

「魅力あるふるさと西播磨づくり」事業の7項目  
うち、1~4の4項目は宍粟市関係予算計上

- 森林セラピー事業の推進（セラピー基地やセラピードームの整備等）
  - 「道の駅はが」の観光交流拠点としてのリニューアル
  - 引原ダムを活用した遊歩道・展望広場等の健康づくり基盤の整備
  - 「日本酒発祥の地・西播磨」酒文化ツーリズムの推進（庭田神社）
  - 黒田官兵衛など歴史資源を生かした観光・交流の推進
  - 地域住民と連携した、金出地ダム周辺の歩道整備
  - 仮里屋川及び幕山川での「ホタルの郷づくり」の推進

# “醫師確保”

## 穴粟総合病院と大阪医科大学

## 大学医学部への特別地域医療支援医師確保特別事業の実施

連携大学	研究拠点	設置期間
神戸大学 医学部	公立豊岡病院 県立柏原病院	平成22年4月～ 平成27年3月
兵庫医科大学 大 学	兵庫医科大学 ささやま医療センター	平成21年4月～ 平成31年3月

追加決定

大阪医科大学	穴粟総合病院 神崎総合病院 赤穂市民病院	平成26年4月～ 平成28年3月
--------	----------------------------	---------------------

		1月11日	一般(社会倫理研究会)
31日	30日	31日	門前自治会 宍粟市新年祝賀会 ライオンズクラブ家族例会
29日	28日	29日	7日 龍野土木事務所長来所 宍粟総合病院打ち合わせ 県議会西播会(神戸) 会派政調会(県庁) 農政環境部会(県庁)
27日	26日	27日	8日 会派政調会(県庁) 会派政調会(県庁) 会派政調会(県庁)
25日	24日	25日	9日 日本友好議員連盟総会(東京) 議員団新年懇談会(神戸) 会派政調会(県庁)
23日	22日	23日	10日 社会福祉議員連盟新年のつどい(神戸) 宍粟市成人式
21日	20日	21日	11日 養父穴線促進協議会陳情 総務常任委員会(県庁)
19日	18日	19日	12日 企画部県民局懇談会(神戸) 波賀町県政三報告
17日	16日	17日	13日 県議会総会(県庁) 企画部県民局懇談会(神戸)
15日	14日	15日	14日 県道塙田二日月線打ち合わせ 県道塙田二日月線打ち合わせ
13日	12日	13日	15日 総務常任委員会管外調査(熊本県) 総務常任委員会管外調査(鹿児島県)
11日	10日	11日	16日 総務常任委員会管内調査(宮崎県) 農政環境常任委員会管内調査(宮崎県)
9日	8日	9日	17日 宍粟警察署科初め式 NPO法人太陽の家理事會(山崎)

春名哲夫の活動日誌

県議会就任の23年9月には宍粟総合病院が、医科大学との連携には3年かかります。内容は大阪医科大学に講義代として2年域医療研究及び学生への講義を通じて医師不足が深刻な地域医療を支援するものです。つまり県が大阪医科大学に依頼して宍粟総合病院の医師を確保しようとする仕組みであります。今後も医師確保に努めます。

## 事務所のご案内

〒671-2576

兵庫県宍粟市山崎町

鹿沢237-5(HTOビル2F)

TEL. 0790-63-0770

FAX.0790-63-0760  
E-mail info@harunatetsuo.jp(春名直通)

E-mail: info@harunatetsu.jp (音響監修)  
office@harunatetsu.jp (事務局)

UJI BI <http://www.harunatetsu.jp/>

索引指南 检索

春名哲夫